

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コミュニティケアペンギン（放デイ）		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	鹿児島県の中で2番目の人口を誇る地域で、医療的ケア児・重症心身障害児の療育機能を持つ事業所として行政・医療機関・教育機関等と密な連携と共有を図り、利用児・家族の将来を見据えた支援を提供すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児のいつてみたい、やってみたいを実現するために、保護者にも協力をいただき将来の余暇の充実を見据えた支援を行う事で、卒業後の支援に繋げていく。 ・関係機関と密な連携と情報交換を行い、行動の変化や個別支援計画書に基づいた支援を行うことで、将来あるべき姿に向かって支援をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中の個人として、自立支援、利用児・家族本位のサービス提供を行う。 ・他事業所と協力しながら一体的な支援を行っていく。 ・学校側にもアセスメント情報を提供することで利用児の選択肢の幅が広がる
2	・利用児の状態に応じて、各専門スタッフの情報共有を図り、支援を統一し、1人1人のケアやサポートをしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・経験を重ねていく大切さを取り入れた支援を実施している。また、ケアやサポートの統一性を図ることで、日常生活を楽な姿勢や笑顔で過ごせる体制を提供している 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に利用児の状態を職員間で共有し、利用児の成長・発達に繋げるための支援を検討し、統一性がある支援をしていく ・関係機関とケアやサポートの共有を行い、利用者の意思の尊重、社会参加、交流、意見促進などの充実を図る。
3	・「できないと決めるのではなく、どうしたらできるのか」専門職がチームで考え支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・意思表示を各専門職が評価することで、活動の幅が広がる。 ・専門職がお互い意見を尊重しにチームとしての支援方法を検討する。 ・利用児、保護者主体の専門的支援を行いチームで継続した支援を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携は図ることで、より質の高いアセスメント情報を収集して支援に繋げていく。 ・「できた」を関係機関と共有し、利用児、保護者の経験となる事で将来に向けた支援に繋げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安心・安全な生活を支援する為に非常災害時に備え、定期的な避難、救出などの必要な訓練を実施しているがご家族の参加・報告が行き届いていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練等は年に2回以上実施し、昨年は災害時のご家族への引き渡し訓練を行ったが保護者様へより良い支援できるように今後も継続することが必要となる。尚、計画時は説明をしていたが、訓練前に全体的に周知する方法や個々に説明する場を綿密に計画に盛り込んでいなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会で災害時のマニュアルや実施報告を行う為、ご参加いただけるように、早めの呼びかけを行う。 ・非常災害に向けて年間計画に盛り込み、実施前に前には月間予定表や非常災害訓練計画書を配布して保護者様と情報共有を行い継続して取り組んでいく。
2	事故・緊急時対応・防災、感染症などの各マニュアル、防災訓練などの報告を保護者様へ周知、説明する機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時にマニュアルについては説明をしていたが、具体的なマニュアル説明を行う機会が少なかったため、説明が行き届かなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に3回以上実施する各保護者会やイベント事で説明をする機会を作り、質問等もお受けしていきます。また、訓練を実施する前に保護者様へ訓練計画書を提供し実施後の報告の徹底を継続していく。
3	定員が5名ということもあり、個別・小集団の活動提供はできているが、集団活動においては課題となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援と放課後等デイサービス合わせて5名定員の為、小集団での活動となる。利用児の身体状況に合わせた支援が必要となり、個室の部屋と生活スペースを分けており、集団で活動できる環境はある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に他事業所との交流の機会を立て、集団の場を経験する機会を作る。 ・個別や小集団の活動を中心に行い、学校や地域交流の機会に集団に参加する機会を提供する。